

# 親子聖書日課

NO.1928 2025.9/7-13

名前

[日]ミカは農夫でしたが、主の言葉を北イスラエルと南ユダに恐れずに語りました。サマリヤの偶像礼拝の罪がエルサレムに及ぶことに主が裁かれると。自分の欲望に惹かれて、主のみ心を忘れてはいけません。いつも主を見上げましょう。

[月]私達はミカのように御言葉を語る使命がありますが、「お前の話しなど聞きたくない」と言われるかもしれません。でも恐れてはいけません。罪を指摘する話は心地よくありませんが、痛い所をズバリ語るなら、救われる人が起こされます。

[火]「人の財布を見て法を説け」はいけません。偽預言者は金をくれる人には平和を語り、何もくれない人には攻撃しました。ミカのように主の力と霊を頂いて、正義と勇気に満たされて、人の罪を語ると共に、神の絶大な赦しと愛を語りましょう。

[水]民にとって、バビロン捕囚は大変な苦しみでしたが、そのバビロンが救いの場所になりました。人間の目には、絶望の極みに見える所から、主の救いは始まります。いつも御言葉の剣を身につけて、主に頼るなら、希望をもって生きれます。

[木]キリストの誕生の預言です。主はエルサレムではなく、ベツレヘムの家畜小屋で生まれました。救い主は、最も貧しく力のない人々の中に宿って下さいました。主を信じる人は、真の安らぎが与えられ、悪と罪に打ち勝つことができます。

[金]主が私達に求めておられることは、「へりくだって神と共に歩むこと」です。自分に頼らず、御言葉に服従して、主と共に歩むことです。二人三脚のように、主の掛け声に合わせて、祈りつつ歩むと、道を踏み外さず、目的地の天国に行けるのです。

[土]海の深みに投げ入れたら最後、見つけることは困難のように、主は私達の罪を海の深みに投げ入れて、完全に赦して下さいます。主の十字架の重石があるからです。「咎を除き、罪を赦される神」は、主イエスだけです。救い主を信じましょう。



	聖書	問題	答え
日	ミカ 1:1-16	主はどこから来られますか。	
月	2:1-13	何を言うなといいながら彼らは自らたわごとを言っていましたか。	
火	3:1-12	ミカが罪を告げることができたのは、何に満たされていたからですか。	
水	4:1-14	もはや何を学びませんか。	
木	5:1-14	イスラエルを治める者が出るのは、エフライムのどこですか。	
金	6:1-16	主が求めておられることは、へりくだってどうすることですか。	
土	7:1-20	主はすべての罪をどこに投げ込まれますか。	
感想と祈りの課題			